看護の日」のイベント

令和6年5月11日に、看護の日のイベントを「姫路リバーシティ」にて「まちの保健室」活動として実施しました。活動内容は血管年齢、体脂肪測定、健康相談、災害対応でした。

65歳以下の参加者や、子供連れの参加者が多くみられました。久しぶりの開催の為、以前より規模を縮小しての開催でした。どのくらいの方が足を止めて下さるのか不安でしたが、お声がけすると立ち寄って下さる方も多かったです。

また、お正月に大きな地震があった後なので、百円均一でそろえる災害対策のコーナーが大変好評でした。

百円均一でそろえられる災害対策グッズの一例

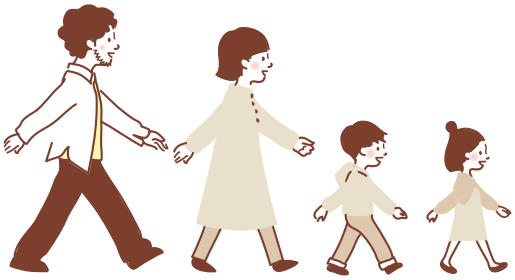
マリアフェア　出前隊

10月27日に、5年ぶりに姫路聖マリア病院内イベント“マリアフェア”が開催され、出前隊活動を行いました。

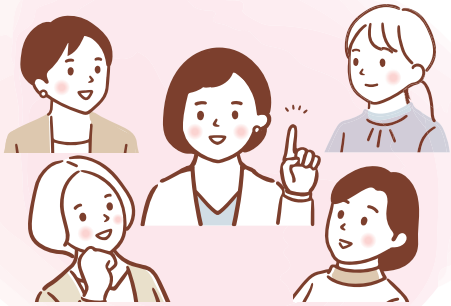
「まちの保健室」をお目当てに、開場前から行列ができる大盛況でした。血圧測定・骨密度測

定・握力測定・血管年齢測定・体脂肪測定545件、健康相談87件、白衣体験45件と大人から子供まで幅広い世代に参加していただけました。

今後も地域住民に寄り添った親しみやすい活動を継続していきたいと思います。



ボランティア研修会



今回のテーマは、「在宅の褥瘡ケアを考える」であり、講師は訪問看護ステーション楽しょうの皮膚・排泄ケア特定認定看護師の安藝奈々枝氏をお迎えし、11月16日姫路市商工会議所にて研修会を行いました。

参加者は、看護師23名、保健師3名、助産師1名、作業療法士1名の計28名でした。

前半は、褥瘡ケアの病院と家庭（施設）での違いや、褥瘡をもつ本人を取り囲むすべて（環境、資源、人・・・）を包括的に見ていく看護の実際についてお話しいただきました。

後半は、実際の褥瘡ケアの手技や経過を豊富な資料とともにご紹介いただきました。

グループワークでは、他施設からの参加者と話し合うことで、病院、訪問看護、外来など様々な視点から日ごろの疑問や悩みを話し合うことができ、自身の看護を見直す良い機会となりました。